

いい音楽が聴きたい!

すべてから解放される大人の放課後。
ひさしぶりに、コンサートに出かけてみませんか。

写真／菅原克哉 文／しおみえりこ

ある日、指揮者の三石精一氏から電話があった。三石氏は東京藝大指揮科の第一期生ではたったひとりの卒業生。指揮者として日本では最高峰の人物だ。

そのマエストロが、「次回の定期演奏会でリムスキー・コルサコフの『シエラザード』をやるうと思うんだけど、ソロ・コンサートマスターは後藤龍伸君にお願いしたいので彼のメールアドレスを教えてくださいほしい」と言う。

後藤氏はブラジル育ちの个性的なヴァイオリニスト。学生時代から、彼の音楽活動は葉加瀬太郎氏ら後輩たちに大きな影響を与えていた。彼の情熱的なヴァイオリンは一度聴いたら忘れられない。

「アラビアン・ナイト」を題材にした壮大な交響組曲「シエラザード」では、ヴァイオリン独奏の重要な主題が妖しく色っぽく幻想的に奏でられる。これは確かに後藤龍伸氏以外には考えられない。それは私も同様

だった。しかし……後藤氏は現在名古屋フィルハーモニーのコンサートマスターで、地方での活動に力を入れていたため東京でのオーケストラ活動を拒んでいる。私はマエストロに事情を話し、「彼を口説くのはむずかしいと思う」と告げ、ひとまずはメールアドレスだけ伝えることにした。ところが、75歳のマエストロ



は、その日から慣れない手つきで携帯メールを打ち、熱烈なラブコールを何度も何度も後藤氏に送りつづけたのである。「この独奏はぜひ君以外には考えられない」と……。そして、ついに後藤氏はマエストロ三石の想いに応えた。

東京では毎日のように、数えきれないホールでステージがくり広げられる。こんな街は世界中探したって東京だけだ。その洪水の中から、光るひと粒の宝石のような音楽と出会うこと。これが至福でなくて何であろうか。

大人の放課後は、こんな音楽に包まれたいものだと思っております。

しおみえりこ

テレビ生CMの演出、スタイリスト、デザイナー、ビデオ制作を経て、現在イベントおよびコンサートのプランナー&プロデューサー。アーティストと音楽家の共同作業による立体的な舞台を手がける。

公演情報

東京ユニバーサルフィルハーモニー管弦楽団第23回定期演奏会 リムスキー・コルサコフ没後100周年記念
日時／2008年4月26日(土)
午後2時開演
会場／東京芸術劇場大ホール
出演／指揮:三石精一、ソロ・コンサートマスター:後藤龍伸、ピアノ:小川典子
料金/D席 2,000円～S席 7,000円
お申し込み／ユニフィルチケットセンター ☎03-3974-6557 チケットびあ ☎0570-02-9999